

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	191人

1. 使用状況

寄贈物品名	2連ブランコ&境界柵
使用学年及び人数	小学部児童 83人
使用頻度	毎日
使用状況	月～金の朝の自由遊びの時間に1, 2年生が日替わりで使用。 主に火、水、木の昼休みに小学部の学年間で調整をしながら使用。 火曜日の午後のクラブ活動で4, 5, 6年が使用。 不定期に生活単元学習や自立活動、特別活動の授業で使用。
物品の使用による 変化や効果	新設3年目の本校にとって二つ目の貴重な遊具です。1年前に複合遊具も寄贈していただきましたが、高い所に登って遊ぶのが苦手な児童もブランコなら一人で自分のペースで楽しむことができるので、積極的に遊ぶ姿が見られます。障害の特性から「揺れ」の感覚を好む児童にとっては、他の遊具では味わえないダイナミックさや楽しさも体験できています。また、人数制限があること、安全面の配慮を必要とすることから「交代」「順番」「待つ」「譲る」という場面が生まれ、その中で児童がマナーやルールを学ぶことができています。友達が楽しんでいる姿を見たり、自分はどうやって乗ってみようと考えたりする様子も見られ、ブランコの良さを感じています。
今後の活用の 見通しや課題	ブランコは、一人で乗って楽しむ遊具でありながら、友達(他者)の様子も見ることもできるので、その良さを活かしていきたい。職員間で安全な使用方法を共有し、児童にも伝えながら怪我や事故にならないように気を付けていきたい。
その他 希望や所感など	2年目に複合遊具、3年目にブランコを寄贈していただき、プレイグラウンドでの遊びが広がり、有難く思っています。久しぶりに来校された方からも「1年目は何もなかったのに、遊具が充実してきましたね。」との言葉もいただいています。児童にとって楽しく過ごせる遊具として大切に使用させていただきます。

2. 活用の様子

